

花まつり



「誕生」ということをあらためて確かめ合う大切な場に

子どもと一緒にいたらもっと最高だったと誰もが言う好天と、満開の桜のもと、2021年3月31日（水）に実行委員による花まつりが桑名別院で行われました。

今年度は子どもたちを集めることが難しいと判断し、実行委員で行いました。勤行・法話・灌仏・感話・合唱という内容でしたが、例年であればスタッフは各自役割があり、本堂に座って勤められません。なので、初めての花まつりの導師は分担して行いました。みんなの導師の声は普段聞くことができないのでとても新鮮です。法話は高科駐在が担当してくださり、私たちはいつでも自分を見失うからこそ聞法が大切だということをお話してくださいました。その後、参加者全員が花まつりをテーマに感話を行い、それぞれ、背景や今の思いを率直にお話してくださいました。最後は合唱団ひかりの音源に合わせ、花まつりの仏教讃歌を歌い、閉会となりました。子どもの声のない花まつりだったので淋しくなるかと思いましたが、和気あいあいと勤めることができました。これまで会議を重ねてきた結果だと思えます。それでも、改めて子どもたちを迎えて花まつりがしたい気持ちは強くなりました。



委員による感話



法話